

そよかぜ 5月園便り

令和3年5月6日(木)

西東京市立そよかぜ保育園

3度目の緊急事態宣言が出ている中でのゴールデンウィーク。

皆さんはどのようにお休みを過ごされたでしょうか。

きっとお家生活の中でもいろいろ工夫されて、子どもたちとの時間を有意義に持たれたことと思います。

保育園でもできる限りの工夫や対策をしながら、子どもたちに経験してほしいことを保障していきたいと考えています。

まずは5月13日(木)の「鯉つかみ」。プールに鯉を放って、幼児クラスは自分の手でつかみ取ります。最初は飛び跳ねながら子どもたちの足の間を素早く潜り抜けていく鯉に翻弄されていますが、徐々に皆も俊敏に動けるようになり両手でしっかりつかまえる子が出てきます。そして皆のパワーに圧倒されて鯉も次第にペースダウン。つかむことをためらっていた子もこの状態になると「つかまえた!」と両手でつかんで誇らしげな顔をして見せてくれます。

もちろんつかまえた鯉は武田理事長が華麗な手つきでさばいて、調理さんに「から揚げ」にしてもらい美味しくいただきます。

そよかぜ保育園が大切にしている「本物に触れること」…鯉が元気に泳ぐ姿を目の当たりにし、つかまえた時の触感・重さなど体感することで力強い鯉の生命力を感じる

そして私たちの食事は「命をいただいている」ということを知る 食事をする時の挨拶は「いただきます」(命をいただく)・「ごちそうさまでした」(命をありがとう)という意味があるんだということ実感する など、食育に繋がっています。

これからプランターで夏野菜を育てて、食べ頃になったら収穫。もぎたての野菜を洗ってその場で食べたり、子どもたちの目の前で担任が調理をして食べることもあります。

6月に入ると矢ヶ崎農園さんの畑でじゃがいも掘りもします。掘ってきたじゃがいもはお昼やおやつにも登場しますが、自分たちでもメニューを考え、調理して美味しくいただきます。

肉も魚も野菜も命あるものだということを、色々な経験を通じて子どもたちに感じてもらえると良いなと思っています。

かくいう私(今宮)は生き物が苦手です。元気よく張り切って鯉をつかまえに行く子どもたちを本当に尊敬します。

数多の虫や爬虫類が顔を出す季節。子どもたちが嬉々としてつかまえてきたものを見せに来てくれる、私にとっては試練の季節でもあります。

少々ひきつった笑いを浮かべながら対応している姿を見かけたら、頑張っているなと思っていただければ幸いです。



こちらは

園庭のプールを泳ぐ鯉です

クラス通信



ひよこ

拭きぬける風が心地よく感じる日が増え、泣き声の大合唱だった子どもたちも、大人たちといっぱい抱っこやふれあい遊びをしていく中で信頼関係を築き、泣き声から**笑顔**に変わってきました。今月も沢山ふれあい一人ひとりの育ちに合わせ、生活リズムを整えながら無理なく過ごしていきます。



あひる

あひる組は天気の良い日にはお散歩に出かけています。新緑の合間からキラキラと光が降り注ぎ、心地よい季節ですね。散歩先に着くと“それー出発！！”とばかりにあちらこちらに探索開始。探索に満足し終えると、大人とまてまて遊びを楽しんでいます。わらべうたの

“からすかずのこ にしんのこ♪おしりをねらって かっぱのこ♪”

と歌ってお尻をねらっていくと、「きゃははは…」と言って逃げ回り、自分から“やって！！”とお尻アピールしている子もいますよ。色々なふれあい遊びを楽しみながら元気いっぱい遊んでいますね！！



すずめ

お散歩に出掛けると春は発見がいっぱい！「何か虫いた～！」という声が聞こえると、みんなで肩を並べて覗き込み、じっくり観察…。また、木の実を見つけても「こっちにあつたよ～」とお友達に教えてあげては探索仲間がどんどん増えていきます。

懇談会でもお話ししましたが、遊びの中で今最も大好きなのが“ことりことり”。「こ～とりことり向こうのお山へ飛んでいけ～♪」と始めると、反対側にはお友達が待っていて、お友達の所まで走って行ってぎゅー！熱い抱擁！！

先日、みんなの**手形で模様**をつけ、鯉のぼりを作りました。もうすぐお空を元気に泳ぎます！

「散歩行こう！」「今日はどこに行くの？」「ヨモギ摘みにいくよ」「ヨモギってなーに？」「ほらこれだよ」、「見つけた」「見つけた」「お土産にする」と引き抜いたり、千切ったり、子ども達の手には、しっかりヨモギが握られていました。このヨモギが鯉のぼりに！ヨモギ摘みから始め、鯉のぼりになるまで何日もかけみんなで仕上げ、**ヨモギ色の鯉のぼり**が園庭の空を泳ぎますよ。ヨモギ摘みなど季節を感じながら散歩を楽しんでいます。

朝夕の気温差に体調崩すことのないよう、今月も五月晴れの空の下で散歩三昧。たくさんお外で遊んでいます。



ひばり



4月は天気の良い日が多く、毎日「今日はどこ公園行く？」とたくさん散歩に出かけました。つばめ組になって、イチョウ公園や西原団地、タコ公園や六仙公園等あまり行ったことがなかった公園にも足をのぼして、この時期ならではの自然にたくさん触れて、春満喫！クラスで育てていたオタマジャクシも、どんどん体が大きくなって、後ろ足が生え、いよいよ前足も生えてきました。あっという間にカエルになってしまう勢いです…！

鯉のぼりは“タンポポ染め”を行いました。来る日も来る日もみんなでタンポポ集めをしたので、タンポポ探し名人がたくさんをつばめ組です。どんな鯉のぼりができるのか？！園庭を泳ぐのをお楽しみに！



足の生えたオタマジャクシ

摘んだたんぽぽをお鍋でグツグツ煮て、布を染めました。



年長となり、一番大きいお兄さんお姉さんになった一か月。毎日のリズム遊びでは、年長になって挑戦する新たなリズムに“年長さんなった”という嬉しさと意欲で背筋もピンと伸ばし気合充分。今まで遊んできたリズムも“年長さんだから更にかっこよく”と指先、足先まで意識して行ったり、ピアノが終わるまで最後までやりきることを目標にしています。

暑い日に園庭へ出て砂場で水を使って遊んでいると、いつの間にか水の掛け合いで走り回ることに。フットサルコートでたくさん走って汗をかき、シャワーも気持ちがいい！

今月も天気の良い日に散歩に出掛け、走って走って走り、気持ちの良いシャワーと美味しいご飯を食べて元気いっぱい過ごします！



5月 園行事

13日(木) 子どもの日の会
19日(水) 布団乾燥
26日(水) 合同避難訓練

17日(月) 藤井先生交流(年長)
20日(木) 内科検診
27日(木) 耳鼻科健診

18日四園交流(年長)
25日(火) 誕生会

子どもの日によせて

新年度になりお部屋も変わり、一段とたくましくなった子どもたち。

手形 足形 野菜スタンプ 等などに加え、泥んこ染めの鯉のぼりも泳いでいます。

自分の足で歩かせてほしい たとえどんなに遅くても

自分の手でやらせてほしい たとえどんなに傷をつけても どんなに下手であっても

自分の頭で考えさせてほしい たとえどんなに間違っているとしても

その間違いが 必ず 後の育ちに役立ってくれるのだから

斉藤公子（さくら・さくらんぼ保育園創設者）

斉藤公子先生は「乳幼児の発達の可能性は果てしない」と 人が人間になる大事な時期＝乳幼児期の保育のあり方を説き、実践された方です。転んだり、泣いたりするとすぐ抱っこをしてしまいます。

「できない」と助けを求めて来た時、安易に手を貸していませんか？ 出来るのに甘えているだけかもしれません。本当に困っているかどうか見極めなければなりませんね。甘やかす事と、愛情とは違います。

過干渉・過保護にならないよう、一人一人の育ちに寄り添い、見守り、援助していきましょう。

あそびの中から、生きる根っこは育ちます。

水・泥・砂・太陽が子どもを育ててくれます。

生きる力を学び、自然の中で五感を働かせ、探索し、自らの感覚を育てていきます。

リズム遊び 楽しく体を動かすリズム遊びは、何度も重ねることにより、一層しなやかさをまし、

五感が育っていきます。

美味しく食べる 「生きる力の原動力」として必要な栄養をしっかり取り、休息をすることが何よりも大切です。

スマホ脳

アンデシュ ハンセン著（新潮新書）

デジタル化が進む今、人間は自らをどんな危険にさらしているのだろうか。大人だけでなく子どもまで巻き込んで、まるで壮大な実験をしているようだ。・・・ スマホ脳 前書きより

今 書店で爆発的に売れているようです。生活の中に「スマホ」が欠かせない存在となってしまう現状に、便利だが、こんな風に使ってよいのだろうか？と不安を抱いています。そんな不安に答えてくれる一冊です。日本小児科医会でもテレビやビデオに加え、スマホ等が急速に普及する中で睡眠をはじめ生活に支障をきたし、健康被害等も起きると警告しています。

大人が自分の為を知っておくことも沢山詰まった1冊！ ぜひ読んでみませんか。

職員のつぶやき

0歳クラスを担当することが多かったのですが、4月から4歳児クラスの担任となり、色々な散歩先へ行く機会が増えました。

ある日、散歩先で見つけたオタマジャクシを捕まえて、お部屋で育てることに。オタマジャクシが大きくなるには、どのように育てていくとよいのか？どんなエサを食べているのか？等本を借りてきて子どもたちと一緒に絵本を広げながら水を替えたり、水槽を洗ったりして、毎日毎日「オタマジャクシ大きくなったかなあ」「カエルになったらどうする？」とオタマジャクシの話題で持ちきり。私も成長が楽しみになっていっていました。

「小さい足が生えてる！！！」という声が聞こえてきた次の日には、2匹、3匹と足の生えたオタマジャクシが増え、ついに両手も・・・！1日1日の成長の早さに驚き、あっという間に、小さなカエルにしっぽが生えている姿になっていっていました。そして、みんなで話し合い、カエルになる前に池に返すことを決めて「おおきくなってね～」と声を掛けてお別れをしました。

毎日の日課であったオタマジャクシの様子をみることはできなくなりましたが、公園で大きくなっていくことを願っています。

そよかぜ保育園 楠 美沙緒